

自然に親しみ 自然と共に

# 田島ダム

## 県会簿のすほらしの水

水は生命の源といわれ、人間の生活と社会の安定にとってなくてはならないものなのです。

福島県の降雨量は年平均1,400mmで、国内平均1,800mmと比較しますと、降雨量の少ない県といえます。しかも、山地の多いわが県では、せっかく降った雨も、たちまち海に流れてしまいます。このため、大雨時には洪水が発生して貴重な財産を失い、また雨の少ない時は渇水となり、安定した生活を営むことが困難となります。

ダムは、これらの不安を同時に解決する唯一の構造物であり、地域社会に大きく貢献いたします。



# 流域の概要

高野川は、福島県南会津郡田島町に位置し、その源を舟鼻山（標高1,234m）に発し、山間部を南流し、三沢・長井沢等を合流しながら流下し、阿賀川左支川の桧沢川に合流する、流域面積16.5km<sup>2</sup>、流路延長4.1kmの1級河川です。

高野川流域は内陸性の気候を示し、降雨量は梅雨期、台風期に多く、特に台風期の豪雨により災害が多く発生しています。

高野川の水利用は古くから行われ、かんがい用水、水道用水の水源等に利用されています。

流域の年平均降雨量は1,200mm、最大日雨量210mm（田島S.56.8.22）、年平均気温11℃、冬期間の積雪量は3~4mです。



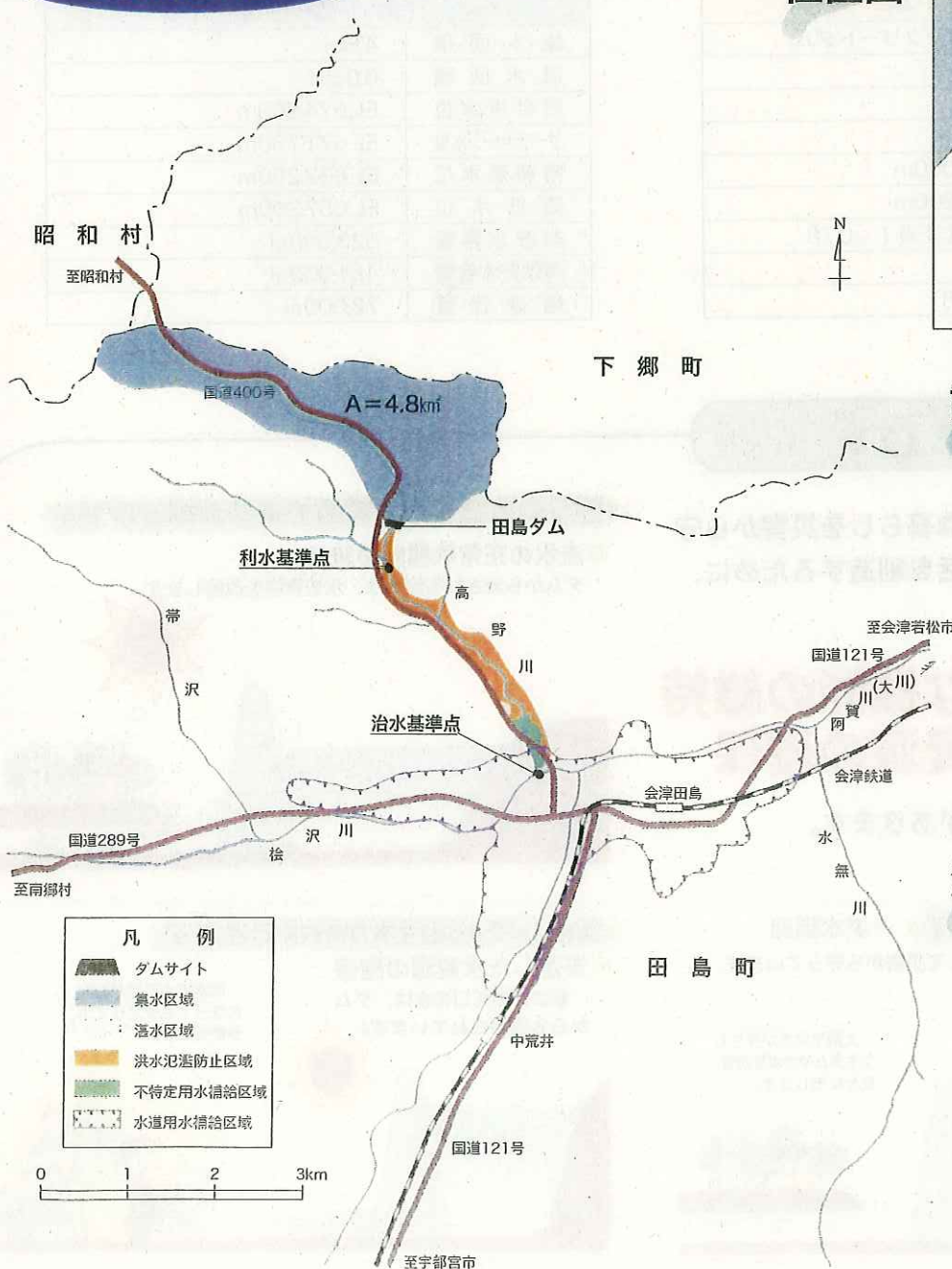
（高野地区方面）

田島町中心地

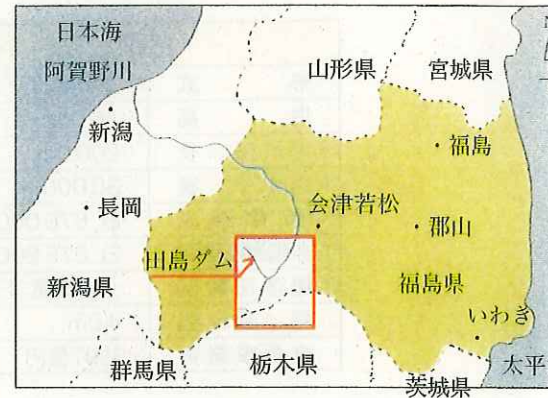


高野川の清き豊かな流れ

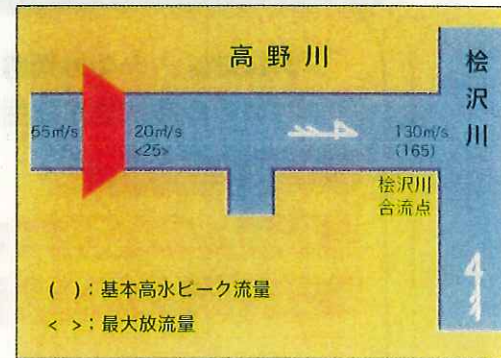
## 高野川流域図



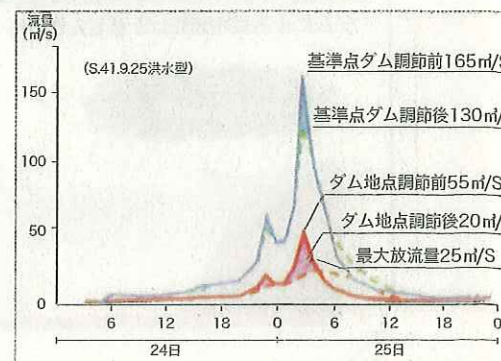
## 位置図



## 計画高水流量配分図



## 洪水調節図



# 事業の概要

田島ダムは、阿賀野川水系高野川の福島県南会津郡田島町大字高野地先に多目的ダムとして建設するもので、高野川総合開発の一環をなすものです。

ダムは重力式コンクリートダムで、高さ36.0m、堤頂長 200.0m、総貯水容量523,000<sup>m</sup><sub>3</sub>、有効貯水容量451,000<sup>m</sup><sub>3</sub>で、洪水調節・流水の正常な機能の維持及び水道用水の供給を目的とするものです。

## 洪水調節

ダム地点の計画高水流量55<sup>m</sup><sup>3</sup>/Sのうち、35<sup>m</sup><sup>3</sup>/Sの洪水調節を行い、高野川沿川地域の被害を防ぎます。

## 流水の正常な機能の維持

ダム地点下流の高野川沿川の既得農業用水の補給を行う等、流水の正常な機能の維持と増進を図ります。

## 水道用水

田島町に対し、ダム地点において、水道用水として新たに1,500<sup>m</sup><sup>3</sup>/日(0.018<sup>m</sup><sup>3</sup>/S)の取水を可能にします。

## ダム及び貯水池諸元

河川名/阿賀野川水系高野川(1級河川)

位置/福島県南会津郡田島町大字高野地内

ダ ム	
形 式	重力式コンクリートダム
堤 高	36.0m
堤 頂 長	200.0m
堤 体 積	80,000 <sup>m</sup> <sup>3</sup>
堤 頂 標 高	EL.676.000m
非越流部標高	EL.675.200m
堤 体 法 勾 配	上流鉛直 下流1:0.78
堤 頂 幅	4.0m
全体事業費	約97億円

貯 水 池	
集 水 面 積	4.8 <sup>km</sup> <sup>2</sup>
湛 水 面 積	0.06 <sup>km</sup> <sup>2</sup>
設 計 洪 水 位	EL.674.200m
サーチャージ水位	EL.671.700m
常時満水位	EL.662.200m
最低水位	EL.657.300m
総貯水容量	523,000 <sup>m</sup> <sup>3</sup>
有効貯水容量	451,000 <sup>m</sup> <sup>3</sup>
堆 砂 容 量	72,000 <sup>m</sup> <sup>3</sup>

## ダムのはたらき

ダムには、人々の大切な暮らしを災害から守り、潤いのある快適な生活を創造するために、

- 洪水調節
- 流水の正常な機能の維持
- 安定した水資源の確保

というとても大切な役割があります。

### 大雨から洪水災害を防ぎます ● 洪水調節

ダムによる洪水調節は、皆さんの暮らしを災害から守っています。



### 日照りのときは、貯めている水を流します

#### ●流水の正常な機能の維持

ダムから流される流水は、水辺環境を改善します。

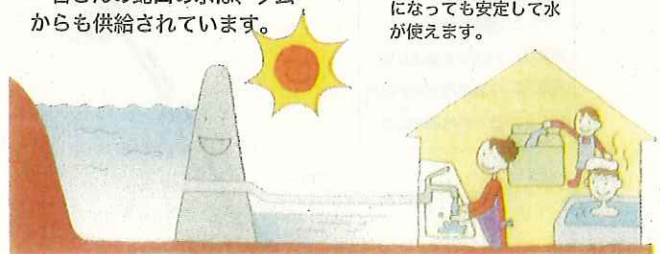


### 安心して水道用水が取水できます

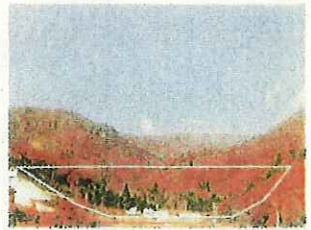
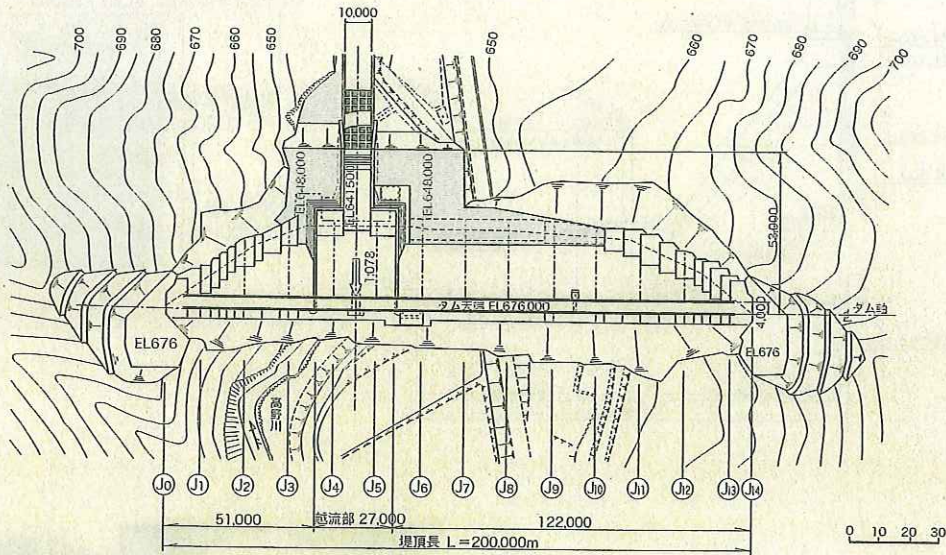
#### ●安定した水資源の確保

皆さんの蛇口の水は、ダムからも供給されています。

濁水で水不足が心配になっても安定して水が使えます。



# ダム平面図



H6.10 ダム本体工事着手前 (下流より上流を望む)



H6.10 ダム本体工事着手前 (上流より下流を望む)

# 地形・地質

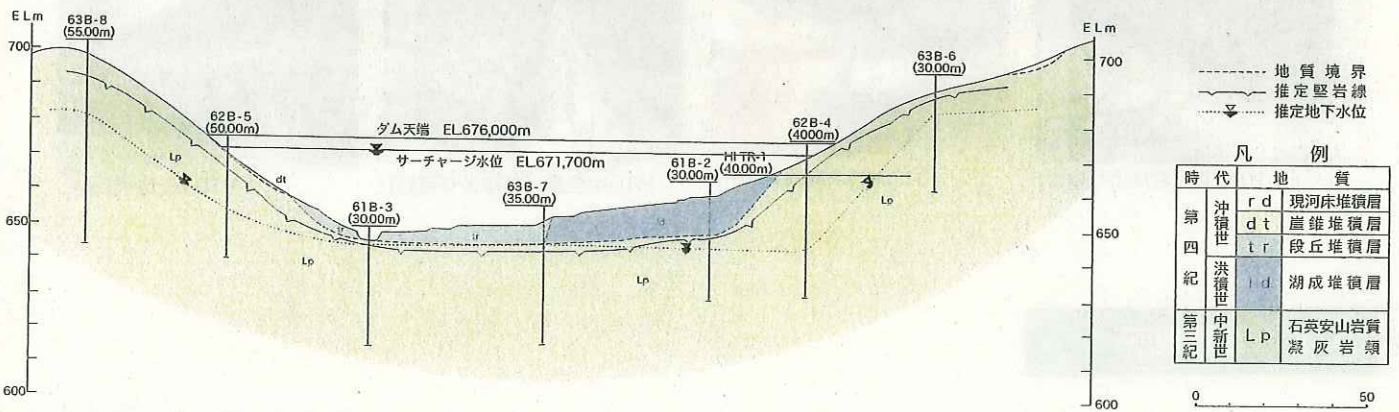
## 1. 地形

高野川は、舟鼻山に源を發して山間部を南流し、阿賀川左支川檜沢川に合流する河川ですが、ダムサイト付近は、田島盆地西縁部の山岳地から扇状地へ移り変わる付近であり、平均河川勾配は急になっています。ダムサイトの左岸側は低位段丘面から急峻な地形をなし、右岸側には河床から上部30m付近まで、なだらかな緩斜面が続きます。現河床は、幅2~5mですが、右岸段丘を含めた谷幅は約50m、左岸傾斜約30°、右岸傾斜約25°となっています。

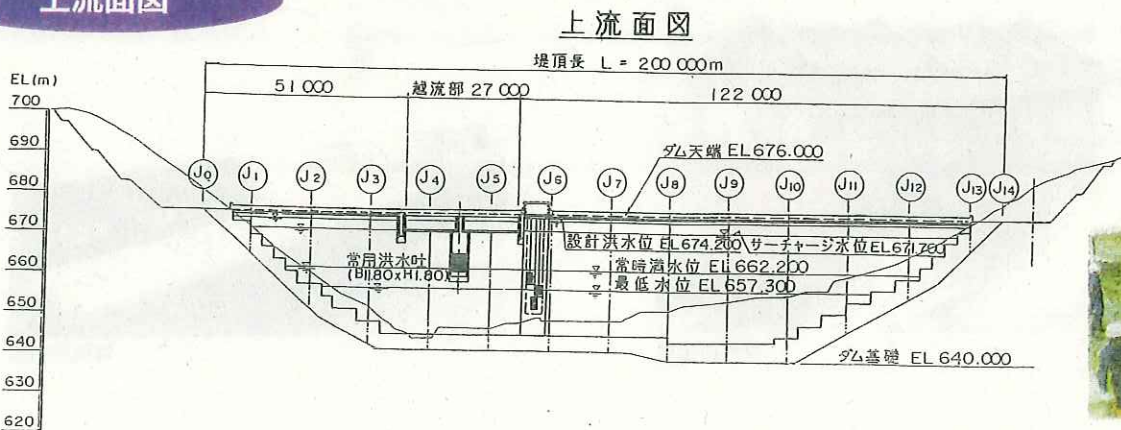
## 2. 地質

ダムサイト周辺の地質は、新第三紀中新世の堆積とみられる厚さ100m以上の石英安山岩質凝灰岩類（グリーンタフ）を基盤とし、第四紀洪積世の石英安山岩質凝灰岩類、安山岩質火砕岩、湖成堆積層がこれを覆っています。貯水池上流には第三紀の安山岩の露頭がみられます。貯水池内の石英安山岩質凝灰岩は、成層したものは局部的にしか分布しておらず、大部分は無層理で火砕流による堆積と思われる、第四紀火山泥流堆積物等の基盤岩をなして、広域に分布しています。

# 地質断面図

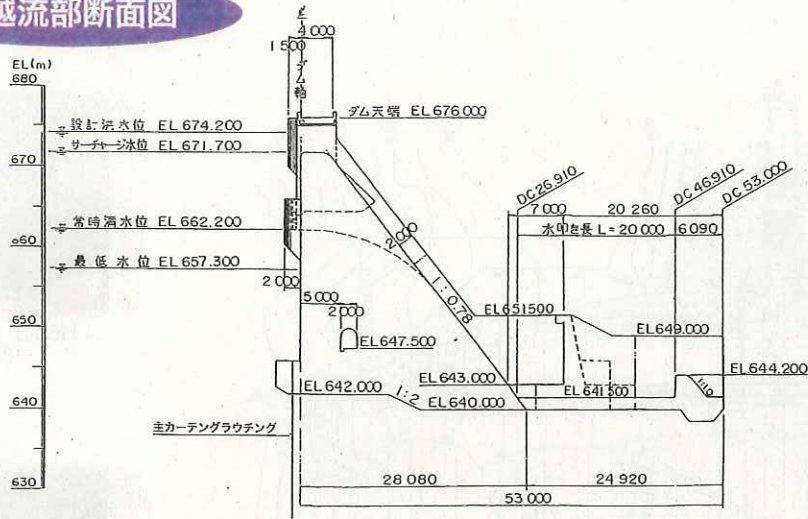


# 上流面図



H7.7 第1回地盤検査

## 非越流部断面図



## 貯水池容量配分図



## 事業経過

- 昭和60年 4月 予備調査開始
- 昭和63年 4月 実施計画調査開始
- 平成3年 4月 小規模生活ダム（現：生活貯水池）事業建設採択
- 平成4年 4月 南会津建設事務所内にダム建設課新設
- 平成5年 4月 工事用道路着手
- 平成6年 11月 ダム本体工事着手
- 平成7年 3月 1次転流工完了
- 平成7年 8月 ダム本体コンクリート打設開始  
（定礎式）
- 平成8年 7月 2次転流工完了
- 平成10年 10月 ダム試験湛水開始（湛水式）
- 平成11年 2月 サーチャージ水位到達
- 平成11年 3月 竣工



H7.2 ダム堤体掘削



H7.3 一次転流完了



H7.8 コンクリート初打設



H7.8.29 定礎式



H7.10 全景（右岸より望む）



H8.7 二次転流完了



H10.4 全景（左岸より望む）

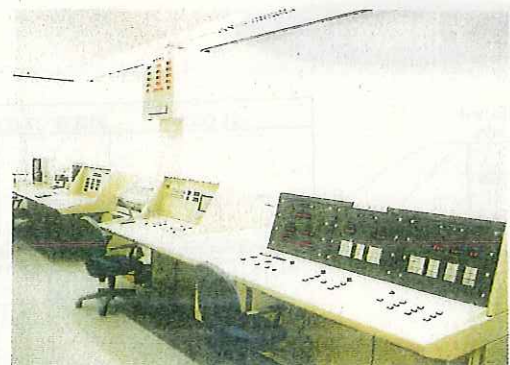


H10.10.12 湛水式

## ダム管理所



管理所全景



管理所内部